

第19回 古文単語 | 重要助動詞 【一問一答】

Q01 「る・らる」の意味を答えなさい。

ヒント：文脈での意味判断が最重要。特に「自発（自然と～される）」に注意。

答え：

Q02 「す・さす」の意味を答えなさい。

ヒント：「す・さす」は使役と尊敬の両義。高貴な人の動作の尊敬語にも使う。

答え：

Q03 「しむ」の意味を答えなさい。

ヒント：漢文訓読由来。「～せしむ」の形で使われることが多い。

答え：

Q04 「給ふ（たまふ）」の意味を答えなさい。

ヒント：動詞の下に付いて尊敬を示す。四段活用（補助動詞）に注意。

答え：

Q05 「奉る（たてまつる）」の意味を答えなさい。

ヒント：物を贈る・動作の謙譲語として使われる。

答え：

Q06 「侍り（はべり）」の意味を答えなさい。

ヒント：「あり・ゐる」の丁寧語。話し手の謙遜と相手への敬意。

答え：

Q07 「候ふ（さぶらふ）」の意味を答えなさい。

ヒント：「侍り」と似るが、より改まった丁寧語。

答え：

Q08 「参らす（まゐらす）」の意味を答えなさい。

ヒント：「参る（謙譲）」の他動詞形。物を贈る謙譲表現。

答え：

Q09 「聞こえさせ給ふ」の意味を答えなさい。

ヒント：謙譲「聞こゆ」+尊敬「給ふ」。最高の敬意を表す二重敬語。

答え：

Q10 「おはしまし給ふ」の意味を答えなさい。

ヒント：最高尊敬「おはします」+尊敬「給ふ」。二重敬語の最高形。

答え：

【答え】

Q01:受身・自発・可能・尊敬（ Q02:使役（～させる）・尊敬（ Q03:使役（～させしむ）・尊敬（ Q04:使役・尊敬の補助動詞（～たまふ）に注意。 Q05:謙譲（～たてまつる） Q06:丁寧語（～はべり） Q07:丁寧語（～さぶらふ） Q08:謙譲（～まゐらす） Q09:二重敬語（～聞こえさせ給ふ） Q10:二重敬語（～おはしまし給ふ）